



徳地の森 親子ふれあいキャンプ

- I 平成28年12月23日(金)～24日(土)
- II 平成29年1月21日(土)～22日(日)
- III 平成29年2月11日(土)～12日(日)

【目的】親子で自然体験活動をすることで子供の自然に親しもうとする態度を育てるとともに、共通体験を通して親子のふれあいを深め、保護者に体験活動の重要性を周知する。

【参加者】 I : 14家族45名 II : 13家族48名 III : 13家族42名

【プログラムの内容】

1日目 11:00 はじめの会
 11:30 参加者交流タイム
 13:30 親子で一緒に体験活動
 18:30 親子でゆったりトーク

2日目 9:30 親子で一緒にクッキング
 13:30 おわりの会
 14:30 解散

親子で一緒に体験活動



1回目では、しめ縄や松ぼっくりのツリーを作りました。



2回目では、薪を割って火つけ体験をしました。



3回目では、チョコを作ったり雪遊びをしたりしました。



毎回行ったのが、竹ランタン作りとテント張りです。

親子でゆったりトーク



夜は自分たちで張ったテントに入って、「家族に感謝していること」や「これからの夢」などについて話をしました。

親子で一緒にクッキング



1回目と2回目では、おもちつきをしました。重たい杵を持ってがんばりました。

3回目は豚汁とおにぎりを作りました。ご飯は羽釜で炊きました。



どの会の参加者も最後の集合写真ではみんな笑顔でした。これからも家族で過ごす時間を大切にしたいと思います。



【参加者の声】日頃、仕事や家事などに追われて子供と向き合う時間がとれないので、今回ゆっくり会話をすることができてよかった。テレビ、ゲーム、スマホが中心になりがちだが、それらがなくても共通体験から楽しさや面白さを共有できることを再確認できた。いろいろと初めての体験が子供と一緒にできてよかった。

【成果】親子の関わりを体験や会話を通して増やすことができ、その大切さにも気づいてもらった。

【課題】大人同士が交流する時間も欲しいという要望が出た。この要望にある背景などを調査し、対応できるようなプログラムを検討する。